

■コメント

1. RSウイルス感染症

定点当たり2.29人と、4週続けて増加しています。年齢別では、1歳以下の報告数が多くなっています。(次頁参照)

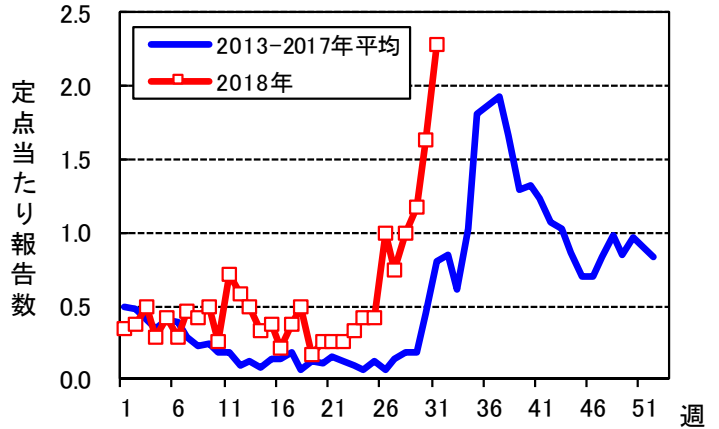
2. インフルエンザ

定点医療機関から21人(定点当たり0.57人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。この時期としては多くなっていますので、注意が必要です。

3. レジオネラ症

1件の報告があり、今年の累計は24件となりました。すでに昨年の年間報告数(23件)を超え、過去最多となっています。

RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												↑	↓	
フィリ	インフルエンザ	21	0.57	0.01	↑	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.87		↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
小児科	咽頭結膜熱	16	0.67	0.64	↑	眼科	RSウイルス感染症	55	2.29	0.81	↔	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	2.17	1.55	↔		流行性角結膜炎	7	0.88	1.45		↔	↔	ほとんど増減なし
	感染性胃腸炎	77	3.21	4.34	↔		細菌性髄膜炎	-	-	-		↔	↔	
	水痘	3	0.13	0.50			無菌性髄膜炎	1	0.14	0.17		↔	↔	
	手足口病	41	1.71	3.73	↔	基幹	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.34		↔	↔	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.27			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		↔	↔	
	突発性発しん	10	0.42	0.51			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		↔	↔	
	ヘルパンギーナ	28	1.17	2.44	↔							↔	↔	

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	84	男性(50歳代)・2人、女性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・1人
4	E型肝炎	1	2	男性(40歳代)
4	レジオネラ症	1	24	男性(60歳代)・市外
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	5	女性(80歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	男性(70歳代)
5	梅毒	2	71	女性(20歳代)、女性(40歳代)
5	百日咳	2	30	女性(10歳未満)・2人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(感染性胃腸炎)(ロタウイルス)	
		第27週	-	17	61	81	7	93	2	7	43	6	18	-	12	-	-	-	-	-
第28週	-	18	52	82	5	76	-	9	26	5	24	-	8	-	-	-	-	-	-	
第29週	-	17	55	101	7	72	-	3	31	1	28	-	9	-	-	-	1	-	-	
第30週	10	6	53	82	5	61	1	8	22	6	39	-	9	-	-	-	1	-	2	
第31週	21	16	52	77	3	41	1	10	28	1	55	-	7	-	-	1	1	-	-	
定点当たり	広島市	第27週	-	0.71	2.54	3.38	0.29	3.88	0.08	0.29	1.79	0.25	0.75	-	1.50	-	-	-	-	-
第28週	-	0.75	2.17	3.42	0.21	3.17	-	0.38	1.08	0.21	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-	
第29週	-	0.71	2.29	4.21	0.29	3.00	-	0.13	1.29	0.04	1.17	-	1.13	-	-	-	0.14	-	-	
第30週	0.27	0.25	2.21	3.42	0.21	2.54	0.04	0.33	0.92	0.25	1.63	-	1.13	-	-	-	0.14	-	0.29	
第31週	0.57	0.67	2.17	3.21	0.13	1.71	0.04	0.42	1.17	0.04	2.29	-	0.88	-	-	0.14	0.14	-	-	
全国	第29週	0.06	0.55	1.57	3.84	0.28	1.87	0.26	0.47	2.49	0.17	0.76	0.01	0.81	0.01	0.06	0.17	-	0.01	
第30週	0.05	0.55	1.57	4.03	0.25	1.80	0.25	0.48	3.09	0.18	0.97	0.02	0.95	0.03	0.04	0.23	-	-	0.01	

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

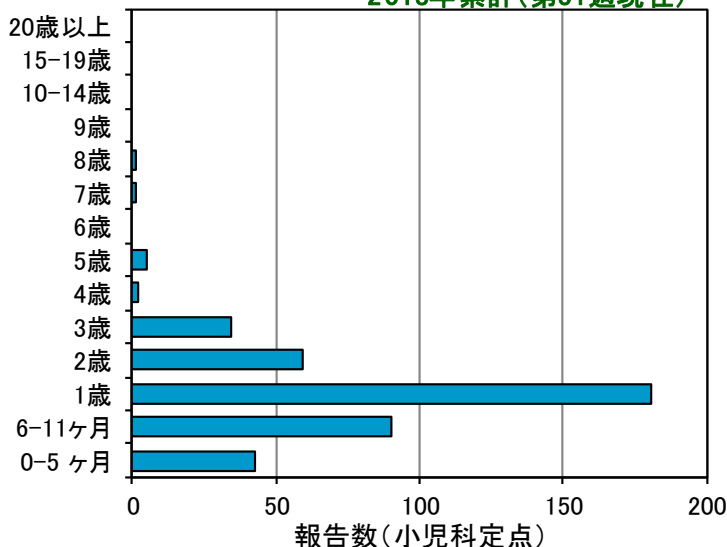
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱(40.0) 下痢 眼の痛み	2	男	2018/06/24	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるRSウイルス感染症の年齢階層別報告数(2018年累計)

小児科定点からのRSウイルス感染症 年齢階層別報告数
2018年累計(第31週現在)



広島市における小児科定点からのRSウイルス感染症累積報告数(416件)の年齢階層別割合をみると、1歳(43.5%)が最も多く、1歳以下の報告数が全体の75.5%を占めています。

RSウイルス感染症の症状は、軽いかぜのような症状から細気管支炎や肺炎などの重篤な症状までさまざまですが、生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、特に乳児への感染を避けるための注意が必要です。

咳エチケットや手洗いの励行、おもちゃや手すりなどはこまめに消毒するなど、感染予防対策を徹底しましょう。

【参考】厚生労働省「RSウイルス感染症Q&A」
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp